

[令和4年度入学者]

持続可能社会創成学環 三つのポリシー（プログラム別）

（プログラム名をクリックしてください。）

持続可能社会創成学環-社会データサイエンスプログラム

持続可能社会創成学環-グローバルSDGsプログラム

# 持続可能社会創成学環(社会データサイエンスプログラム)の三つのポリシー 【修士(学術)】

大学院の目的 (大学院学則 第2条)		学環(プログラム)の教育研究上の目的			
本学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。		本プログラムは、現代社会にあふれるデータを適切に読み解くことで課題発見・解決を行うとともに、そこから新しい価値を創造して地域活性化やSDGs達成に貢献できる人材を育成する。			
ディプロマ・ポリシー		カリキュラム・ポリシー		アドミッション・ポリシー	
<b>【修了認定・学位授与の方針】</b> 本学環の教育上の目的に基づき、現代社会にあふれるデータを適切に読み解くことで課題発見・解決を行うとともに、そこから新しい価値を創造できる力を身に付け、以下に示す学修成果を上げた者に、修士(学術)の学位を授与する。		<b>【教育課程編成方針】</b> 社会データサイエンスプログラムでは、修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げる4つの能力(基盤的能力、専門的学識、倫理観、創造力)を修得させるため、体系的な教育課程を編成する。  <b>【教育課程実施方針】</b> 2年間の学修を通じて、学生が主体的・能動的に学ぶことができるような教育課程を実施する。授業科目としては、必修科目の講義・演習・特別研究・特別演習に加え、選択科目を開講し、講義・演習・実習の様々な方法・形態により行う。その評価は、各能力における学修成果の到達目標に対する達成度について、客観的な成績評価基準に基づいて行う。		<b>【入学者受入れの方針】</b> 社会データサイエンスプログラムは、基礎的能力及びデータサイエンス・AIの強い学修意欲を持ち、将来、専門知識と技術を活かして持続可能社会の実現に貢献する意欲のある学生を求める。  <b>【入学者選抜の基本方針】</b> 社会データサイエンスプログラムは、社会人を積極的に受け入れる意図から、筆記試験は課さずに、総合型入試のみで入学者選抜を行う。各項目において、社会での経験を発揮してほしいと考えている。  総合型入試 研究計画及び履修計画についてのプレゼンテーション、個人面接、グループディスカッションを課し、学士課程までに修得した知識、研究課題及びその解決に必要な知識・スキルを設定する能力、コミュニケーション力、論理的思考力を総合的に評価する。	
【学修成果の到達目標】		【学修内容、学修方法及び学修成果の評価方法】		【求める資質・能力】	
基盤的能力	<b>【学修成果】</b> 基盤となる学識、社会で活躍するためのコミュニケーション力及び論理的思考力を備え、様々な課題を多面的な視点で捉える俯瞰力を身に付けている。  <b>【到達指標】</b> 豊かな学識、英語力、論理的思考力及び様々な課題を多面的な視点で捉える俯瞰力を身に付けていること。	<b>【学修内容】</b> 豊かな学識や俯瞰力を身に付けるために、専門分野以外の学問分野の科目を学修する。また、国際的な情報の理解と発信の基礎となる英語力を身に付ける。  <b>【学修方法】</b> 持続可能社会創成学環で開講する、全学共通科目及び学環共通科目を履修する。  <b>【学修成果の評価方法】</b> 各授業において、試験、レポート、発表により評価する。	<b>【求める資質・能力】</b> 大学卒業程度の基礎学力を持ち、持続可能社会に関連する学問分野に関する広い知識を修得しようとする意欲がある。		
専門的学識	<b>【学修成果】</b> 課題解決に必要な専門知識、研究能力及び高度専門職業人に必要な実践的能力を身に付けている。  <b>【到達指標】</b> 専門知識、研究能力及び高度の専門性を要する職業に必要な実践的能力を身に付けていること。	<b>【学修内容】</b> 持続可能な社会の構築と課題解決に必要な専門知識、研究能力、高度の専門性を有する職業に必要な実践的能力を身に付ける。  <b>【学修方法】</b> 持続可能社会創成学環で開講する、学環専門科目を履修する。  <b>【学修成果の評価方法】</b> 各授業において、試験、レポート、発表により評価する。	<b>【求める資質・能力】</b> 専門に学ぶ学問分野について、基礎学力を有し、豊かな専門的学識や高度な研究能力を身に付けることで、高度専門職業人として貢献する意欲がある。		
倫理観	<b>【学修成果】</b> 高度専門職業人として活動する上での倫理観、規範意識を身に付けている。  <b>【到達指標】</b> 倫理観、規範意識を身に付けていること。	<b>【学修内容】</b> 倫理観及び規範意識を身に付けるために、情報セキュリティ及び研究者倫理に関する知識を身に付ける。  <b>【学修方法】</b> 大学院共通科目で開講する「研究倫理」を履修する。  <b>【学修成果の評価方法】</b> 大学院共通科目「研究倫理」で、試験やレポート等を課し成績評価基準に基づき総合的に評価する。	<b>【求める資質・能力】</b> 社会の一員としての責任感や倫理観をもって主体的に行動し、持続可能な社会の構築に貢献しようという意識を持っている。		
創造力	<b>【学修成果】</b> 現代社会のデータを適切に読み解くことで課題発見・解決を行うとともに、そこから新しい価値を創造することができる。  <b>【到達指標】</b> 新たな知を創造し、その知から更なる価値を生み出す能力を身に付け、社会が直面する様々な課題に新たな解決策を示すことができること。	<b>【学修内容】</b> 専門の研究や発表、議論に取り組むことにより、創造力・問題解決力を身に付ける。  <b>【学修方法】</b> 特別研究や特別演習を学修し、修士論文を作成する。  <b>【学修成果の評価方法】</b> 最終試験、発表により評価する。	<b>【求める資質・能力】</b> 持続可能な社会の構築に向けて、社会が直面する様々な課題に取り組もうという意欲、広い視野、柔軟な思考力を有する。		

# 持続可能社会創成学環(グローバルSDGsプログラム)の三つのポリシー【修士(サステナビリティ学)】

大学院の目的 (大学院学則 第2条)		学環(プログラム)の教育研究上の目的	
<p>本学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究め、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した能力を培い、文化の進展に寄与することを目的とする。</p>		<p>本プログラムは、持続可能な社会を構築するために解決が必要な諸課題について、自らが新たな知を創造し、その知から更なる価値を生み出す能力とグローバルに活躍するための基礎となる英語力を身に付け、社会が直面する様々な課題に新たな解決策を示すことができる人材を育成する。</p>	
ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー	
<p>【修了認定・学位授与の方針】 本学環の教育上の目的に基づき、持続可能な社会を構築するために解決が必要な諸課題について、自らが新たな知を創造し、その知から更なる価値を生み出す能力とグローバルに活躍するための基礎となる英語力を身に付け、以下に示す学修成果を上げた者に、修士(サステナビリティ学)の学位を授与する。</p>	<p>【教育課程編成方針】 グローバルSDGsプログラムでは、修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に掲げる4つの能力(基盤的能力、専門的学識、倫理観、創造力)を修得させるため、体系的な教育課程を編成する。</p> <p>【教育課程実施方針】 2年間の学修を通じて、学生が主体的・能動的に学ぶことができるような教育課程を実施する。授業科目としては、必修科目の講義・演習・特別研究に加え、選択科目を開講し、講義・演習・実験・実習の様々な方法・形態により行う。その評価は、各能力における学修成果の到達目標に対する達成度について、客観的な成績評価基準に基づいて行う。</p>	<p>【入学者受入れの方針】 グローバルSDGsプログラムは、サステナビリティ学に強い関心と基礎的能力を有し、将来、専門知識と技術を活かして持続可能な社会の構築に貢献できる技術者・研究者となる意欲のある学生を求める。</p> <p>【入学者選抜の基本方針】 複数の受験機会を提供するとともに多様な学生を評価できるようにするため、以下の各種の入試を提供する。実施は年2回とし、秋入学を可能とすることで、国内外の学生を広く対象とする。本プログラムでは、外国人特別入試を導入しない代わりに、口述試験における使用言語を変えることで外国人留学生の受験にも対応する。また、本プログラムでは、人文社会系や理工系の様々な学術分野からの受験生を想定し、面接・口述試験においては、社会科学系と理学系の複数名の教員により評価する。</p> <p>一般入試 口述試験及び出願書類(学業成績証明書、外部英語試験など)等を総合して評価する。</p> <p>推薦入試 面接(学力に関する口頭試問を含む)及び出願書類等を総合して評価する。</p> <p>社会人特別入試 面接(学力に関する口頭試問を含む)及び出願書類等を総合して評価する。</p>	
【学修成果の到達目標】		【学修内容、学修方法及び学修成果の評価方法】	【求める資質・能力】
基盤的能力	<p>【学修成果】 サステナビリティ学分野の基盤となる豊かな学識、グローバルに活躍するための基礎となる英語力及び論理的思考力を備え、様々な課題を多面的な視点で捉える俯瞰力を身に付けている。</p> <p>【到達指標】 豊かな学識、英語力、論理的思考力及び様々な課題を多面的な視点で捉える俯瞰力を身に付けていること。</p>	<p>【学修内容】 豊かな学識や俯瞰力を身に付けるために、専門分野以外の学問分野の科目を学修する。また、国際的な情報の理解と発信の基礎となる英語力を身に付ける。</p> <p>【学修方法】 持続可能社会創成学環で開講する、全学共通科目及び学環共通科目を履修する。</p> <p>【学修成果の評価方法】 各授業において、試験、レポート、発表により評価する。</p>	<p>【求める資質・能力】 大学卒業程度の基礎学力を持ち、持続可能な社会に関連する学問分野に関する広い知識を修得しようとする意欲がある。</p>
専門的学識	<p>【学修成果】 サステナビリティ学分野における専門知識、研究能力及び高度の専門性を要する職業に必要な実践的能力を身に付けている。</p> <p>【到達指標】 専門知識、研究能力及び高度の専門性を要する職業に必要な実践的能力を身に付けていること。</p>	<p>【学修内容】 持続可能な社会の構築と課題解決に必要な専門知識、研究能力、高度の専門性を有する職業に必要な実践的能力を身に付ける。</p> <p>【学修方法】 持続可能社会創成学環で開講する、学環専門科目を履修する。</p> <p>【学修成果の評価方法】 各授業において、試験、レポート、発表により評価する。</p>	<p>【求める資質・能力】 専門に学ぶ学問分野について、基礎学力を有し、豊かな専門的学識や高度な研究能力を身に付けることで、高度専門職業人として貢献する意欲がある。</p>
倫理観	<p>【学修成果】 研究者・技術者として活動するうえでの研究倫理に関する規範意識を身に付けている。</p> <p>【到達指標】 倫理観、規範意識を身に付けていること。</p>	<p>【学修内容】 倫理観及び規範意識を身に付けるために、情報セキュリティ及び研究者倫理に関する知識を身に付ける。</p> <p>【学修方法】 大学院共通科目で開講する「研究倫理」を履修する。</p> <p>【学修成果の評価方法】 大学院共通科目「研究倫理」で、試験やレポート等を課し成績評価基準に基づき総合的に評価する。</p>	<p>【求める資質・能力】 社会の一員としての責任感や倫理観をもって主体的に行動し、持続可能な社会の構築に貢献しようという意識を持っている。</p>
創造力	<p>【学修成果】 持続可能な社会を構築するために解決が必要な諸課題について、自らが新たな知を創造し、その知から更なる価値を生み出す能力を身に付け、社会が直面する様々な課題に新たな解決策を示すことができる。</p> <p>【到達指標】 新たな知を創造し、その知から更なる価値を生み出す能力を身に付け、社会が直面する様々な課題に新たな解決策を示すことができること。</p>	<p>【学修内容】 専門の研究や発表、議論に取り組むことにより、創造力・問題解決力を身に付ける。</p> <p>【学修方法】 特別研究や特別演習を学修し、修士論文を作成する。</p> <p>【学修成果の評価方法】 最終試験、発表により評価する。</p>	<p>【求める資質・能力】 持続可能な社会の構築に向けて、社会が直面する様々な課題に取り組もうという意欲、広い視野、柔軟な思考力を有する。</p>